

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------------------|----|--------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービスもくれんジェニー2 (too) | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 1月 24日 | | 2026年 2月 28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 35 | (回答者数) 35 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 1月 24日 | | 2026年 2月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 9 | (回答者数) 9 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 3月 5日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 一人ひとりのニーズに沿った個別化支援 | 日々の記録やケース会議を通して子どもの理解を進め、職員間で共通意識をもって支援に取り組むことができるように努めている。 | 職員間での共有システムの強化 |
| 2 | プログラム内容が充実している。 | 毎日違う活動を取り入れています。 また、児童の考えたアイデアが活動に反映される場を設けています。長期休みや休日には、外出や地域交流のイベントを取り入れています。。年に二回他事業所と共同で、「子どもマルシェ」を開催している。 | 保護者や利用者のニーズに沿ったプログラムを提供できるように、日々のコミュニケーションの中から情報を収集し、職員間で共有することで、支援プログラムが固定化しないように図る。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 支援の意図や専門的な視点を十分に伝えきれない場合がある。 | 支援の意図や背景を具体的に言語化・可視化する力量が発展途上である。 | 職員研修に参加する機会を作り、障害福祉の理解及び、説明能力の向上を図る。 |
| 2 | 保護者同士の関わり | 保護者参加型のイベントなど、交流できる機会を作っているが、ゆっくりと意見交換や、交流できる場の設定ができていない。 | 保護者交流会及び勉強会を開催することで、保護者間で横のつながりを作ることができるように図る。 |
| 3 | | | |